

# たちばな



## 基本理念

博愛・奉仕・誠実

### 《基本方針》

- 信 頼 優しさ、思いやり、奉仕の精神で患者さまのご要望と信頼に応える医療サービスを実践します。
- 連 携 地域の先生方と手を取り合って、地域医療に貢献します。
- 質の高さ 絶えず研修、研鑽し、質の高い医療を提供します。
- 医療サービス 診療情報や医療保健福祉のサービスの活用について情報を提供します。



内視鏡室よりご案内

Topics

## 経鼻内視鏡を導入しました。

食道 胃 十二指腸 など管状の臓器の診断においては、どうしても内側から観察する以外に方法がありません。

これまでは口から挿入する内視鏡(胃カメラ)にて検査を行っていましたが、この度、鼻から挿入する内視鏡を導入致しました。口から挿入した場合のどを通過する為不快感は避けられませんでした。鼻から挿入することにより不快感が軽減されます。また検査中に会話も可能です。

内視鏡検査は早期発見 診断が主な目的です。症状がないときも含めて検査を受けてください。

副院長 寺田 雅己





# 「どうも」は どうも 不思議

理事長 島崎 信子

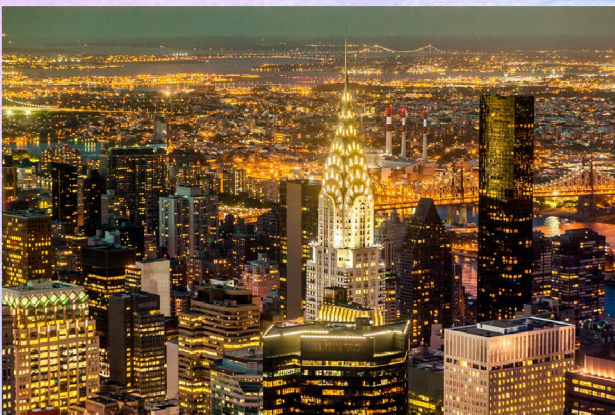
人間関係を和やかにする為、「どうも有難う」と「どうもすみません」を連発する。万国共通の事情故、外国旅行には必ずこの言葉を覚えていくべきだ。英語では「サンキュー・ベリー・マッチ」と「ベリー・ソーリー」となり、「どうも」は「ベリー」で、「とても」の意味となる。

ところが、「どうも」という言葉は多くの意味があって曖昧で便利だから「どうも」不思議であり、「なんだか」を表わす。「どうも」変だとか「どうも」怪しいもはっきり断定出来ぬが「なんだか」という意味で使っている。

それなりに、「どうもよく分からぬ」と使えば「どうしても」という決定的な意味となるので、「どうも」不思議に思えるのが「どうも」という副詞である。

軽い挨拶のつもりで使われる事も多い。知人で現れる時、必ず「あっ！どうもどうも」と言う人がいて、時間に遅れたときは、表情や仕種でお詫びを意味し、彼は頼まれ事を断る時は「それはちょっとどうもね」と言い、誉められると「いやあ、どうもね」と照れ笑いをする。その上「あっそれはどうもでした」と言って下に続くべき、ごめんなさいか有難うを言わないが、成り行きと表情で使い分けて、同じ「どうも」もこんなに変わるものかと感心させられてしまう。

ちょっとした軽い安否を尋ねる「どうなさいました」に「どうもいたしません」と変化なしで大丈夫と答える場合もある。



「どうもいたしません」なるタイトルの檀ふみのエッセイがある。あとがきを引用してみる。「苦勞したこと等語るまい。我慢していることも愚痴るまい。この身にどんな不条理が降りかかろうとも「どうもいたしません」とでも言うように、静かに笑っていたい」とある。

不遇な女優のまま高齢を重ねていて「めぐり逢い」の舞台のエンパイアステートビルの屋上では、天からロマンチックは降ってこず、鳩の糞が落ちてきても「どうもいたしません」とあきらめる様子が我々には好ましく可笑しい。



# 緩

## 緩和ケア病棟とは。



緩和ケア病棟はその人らしい人生を全う出来るように専門的な知識を持ったスタッフが寄り添いながらケアを行っています。また、末期の患者様を対象とした身体的な苦痛がある患者様や精神的スピリチュアルな苦痛への専門的なケアをする場所です。



現在当緩和ケア病棟には、専任医師 1 名、認定看護師 1 名、ELNEC-J のカリキュラム（日本ホスピス協会主催）を修了した看護師が 4 名、今年受講する看護師 2 名を含めた全 10 名の看護師及び看護助手 2 名が在籍しています。全てのスタッフの知識・技術・感性を使い、苦痛を全人的に捉えチームとして取り組んでおります。

また、音楽療法、リフレクソロジーなども取り入れ、傾聴ボランティアの協力も得ながら患者様、ご家族様が穏やかに大切な時間をできるだけ快適に過ごしていただく生活の場を提供しています。

緩和ケア病棟 課長 平尾 祐子



## 緩和ケア病棟のお弁当

緩和ケア病棟では、ご家族様も一緒に召し上がれる季節のお弁当を年 4 回提供しています。今回は 6 月 26 日に実施しました。暑さが和らぐことを意識して献立しました。可愛らしい手毬寿司 5 種類に、天婦羅は夏の食材であるキス・枝豆・コーンを使用。清汁は冷して、フルーツ錦玉と共に涼しさを演出しました。



栄養科 主任 森 和美



## 看護の日にイベントを行いました。

### 《看護の心をみんなの心に》

5月12日はナイチンゲールが生まれた日です。  
全国各地で看護に関するイベントが開催され、当院も立花通商店街で健康・栄養相談を行いました。

たくさんの方の体調や食事に関する声を聞く事ができました。

これからも、地域に根ざした病院でありたいと思います。

看護部長 甲斐 眞智子



看護の心をみんなの心に

5月12日は  
看護の日



### 職員ボイス

立花病院に入職して4ヶ月が過ぎました。私自身、退院調整看護師として地域連携に携わるようになり、7年が過ぎようとしていますが、外来や病棟の看護師として働くのとはまた違った楽しさを今でも日々感じています。

患者様、ご家族様の思いに寄り添い、退院調整看護師としての立場で看護が提供できるようこれからも努力していきたいと思っています。

地域連携室 退院調整看護師 岸 幸恵



### ★お知らせ★

平成30年4月5日、地域住民のご好意により、車椅子を寄贈いただきました。院内で活用させていただくと同時に、今後も皆様に愛される病院として地域医療に貢献してまいりたいと思います。

総務課 課長 堀 耕一郎



### 【編集後記】

暑中見舞い申し上げます。梅雨が明けると同時に猛暑となり、いよいよ本格的な夏を迎えます。高温多湿となり、熱中症に十分注意する必要があります。十分な水分補給と適度な塩分補給、また適度にエアコンで温度・湿度のコントロールを行い、この猛暑を乗り越えましょう。

西2・3階病棟 課長 高取 悦子

医療法人尼崎厚生会(財団)

立花病院

〒661-0025

尼崎市立花町4丁目3番18号

TEL:06-6438-3761

FAX:06-6438-8121

編集担当:広報委員